

施設包括管理委託制度導入の背景・公共施設の現状と課題

(1) 施設包括管理業務導入の経緯

包括管理委託を三木市公共施設等総合管理計画の基本方針の一つに位置付け、実施方針で具体的な業務方針を明記している。

【基本方針】

【三木市公共施設等総合管理計画】

「円滑な財政運営を前提とし、公共施設等の「質」「量」「コスト」の適正化を目指します。

効率的な管理運営

民間で代替でき、かつ、市民サービスの維持向上が図られることが見込まれる施設は、積極的に指定管理者制度や長期包括管理委託制度を活用する。

【実施方針】

【点検・診断等の実施方針】

・公共施設等の点検、劣化診断等を計画的に行い、結果を集積・蓄積し、計画的な老朽化対策等に活用。

【維持管理・更新等の実施方針】

・維持管理に民間のノウハウを活用し効率化、市民サービスを向上。
・予防保全による施設の長寿命化。

【安全確保の実施方針】

・点検・診断等により危険性が高い施設は速やかな修繕等により安全確保。

令和5年度から導入に向けた検討を始めることとなった。

施設包括管理委託制度導入の背景・公共施設の現状と課題

(2) 公共施設維持管理の現状と課題

- ◎ 施設の老朽化
 - ・ 築30年以上が約70%。今後も修繕費の増大が見込まれる。
 - ・ 全施設の維持管理・更新には現状の1.7倍の財源が必要。何とかしてコスト削減が必要。
 - ・ 扶助費が増大する中、修繕・更新費用への重点配分は困難。必然的に事後保全に。
- ◎ 施設管理水準不統一
 - ・ 所管課ごとの管理は管理水準が不統一かつ非効率（職員の異動等も要因）。
 - ・ 管理事務量の増により事務負担増（少額の修繕でも職員負担は同じ、人件費は大）。
 - ・ 施設情報（劣化状況、点検結果、修繕履歴、施設コスト等）の蓄積がなく全庁的に把握できない。
- ◎ ノウハウ不足
 - ・ 維持管理は事務職員が兼務、技術職不足・技術的ノウハウ不足。

種別	対象施設数	R 4		R 5		R 6		合計		3か年平均	
		契約件数	金額	契約件数	金額	契約件数	金額	契約件数	金額	契約件数	金額
保守点検・維持管理業務	22所管課	634	233,765	644	239,899	639	239,832	1,917	713,495	639	237,832
修繕業務	120施設	486	53,707	599	65,839	669	89,172	1,754	208,717	585	69,572
合計		1,120	287,471	1,243	305,737	1,308	329,003	3,671	922,212	1,224	307,404

公共施設の築年別整備状況及び修繕費

